



預醫鈔

廿

十二

武 9
334
12

十二



門 武 9
孫 534
卷 12



醫抄卷第二十

齒喉舌口唇

玉池散	椒豆膏	如神散	蜂房散
乳香散	聚寶散	升麻散	龜石散
赴筵散	綠雲散	兼金散	杏粉膏
生香膏	五香圓	食香圓	黃蘗散
金沸草散	黑散子	薄黃散	鵬砂散
小續命湯	神効散	荊芥湯	解毒雄黃圓
帳帶飲	牛蒡湯	南星防風散	如聖湯

五香煎

清脾湯

羌活湯

齒

○齒ハ是腎ノ榮骨ノ餘也腎劣ル時者即齒カケ精堅時ハ
即齒堅又腸ノ筋斷ニツラナル大腸塞時ハ斷ウキハレテ齒ノ
子動大腸虚スル時ハ齒ノ子ノヒ顛ル是ヲ宣露ト云風ニ侵ル
時ハ齒痛頭痛眩又虫トテ風ニヨリテ虫齒ノ根ヲクウ夏
アリ此ホヲ治ニ皆方有リ

○安腎丹 八味煎テ諸ノ齒ノ病ヲ治ス 此藥虚損ノ卷
ニアリ常用齒藥ニ目方 齒ヲ堅シ風冷ヲ除キ虫食齒

ヲ治シ齒ノ展顛ルヲ治ス 此藥効有リ 槐枝柳枝 各長四寸

皂角枝 七莖 塩四文重 右土器ニキサミ入テフタヲイニ

シテ齒ニ地ヲ以テヌリフタキテ糠火ニ埋テ一夜焼テサメタル時

取出テ細ニ研テ齒ノ根ニヒテクヌリヌルヘシ 縱齒ヲ病サレドモ

此ヲスリヌレハ虫クワズ齒堅ク齒ノ色白年ヨル返齒不落也

○玉池散 三目方 風艸牙疼ハレカユカリ齒根ノヒ顛ル血出テ

氣クキテ治ス 地骨皮 香白止 升麻 トクノ 防風 細辛

川芎 槐花 當飯 藁本 甘草 桑分 石細末メツツ、

齒ノ根ニスリヌルヘシ又一度ニ三錢ヲ水一盞半入テ黒豆ニサテ

生姜三片加テ一盞ニ剪メ温テク、ミテヌルウナラハ吐捨ヨ日ニ
三度モウカウヘシ殊効有リ屢減タルニ皆愈夏ヲ得リ

千金方ニ云齒ノ病アラン人ハ油棗乾柿桂心ヲ不可食又日
蝕月蝕ノ時夜食シ酒湯水ヲ食シ不可吞齒ノ病ヲ生スト
云ヘリ朝毎ニ塩ヲクミテ齒并斷ヲスリ洗テ齒ヲヌク夏百
遍ツスハ長ク齒ヲ不病ト云ヘリ

○一方千金 齒ノ根ノ腫ヲ治ス 松葉ニ擗リ塩二盞右此種ヲ以
酒煎シテアツキヲロニク、ミテヌルウナラハ吐捨ヨ常ウカウハ則
イユ

○一方千金 齒根ユルイテヌケ落トスルヲ治ス 生地黃ヲ綿ニ
ツ、ミテロク、ミテ汁ヲシハフルヘシ

○一方千金 齒根ユルキテニタ痛ヲ治ス 生地黃獨活各ニ反
右細末メ水ニ盃入テ一盃半ニ剪テ是ヲウカウ又センセ子トモ
水ニ浸メ置テロニク、ムヘシ

○一方千金方 斷爛テヨタリ壅血出夏不止ヲ治ス

生竹茹唐竹ノナニ青葉ヲコソケネナリ右醋ヲ以テコク剪テウカウヘシロニク、ミ
テ久可持

細辛ニ反甘草一反右細刻テ以醋コク剪メ晝夜ニロニク、ムヘシ

○一方^{千金} 酒ニエテ牙齒ヨリ血キ出スヲ治ス 當飯ニ^二反

礬石二分 桂心 細辛 甘草 各一分 右細末合テ毎服五錢ヲ^二冴

漿^三盞入テ七分煎テ滓ヲ去テ日夜温テフクミウカウヘシ

○一方^{千金} 齒痛テ不可忍ヲ治ス 生地黃^一節 蒜^一ケ

右春合テ綿ニ裹テ痛齒ノ上ニ置加ヨ汁ヲ不可吞汁ヲハ即吐

捨ヨ日ニ是ヲ食カハ齒痛ニ心イユ痛猶アラハトメヨニ度

イタクハ室テ用ヨ

○一方^{千金} 齒ノ痛ニ不可忍ヲ治ス 足ノ踝ノ子上ヲ三壯灸ヨ

○又一方^{千金} ワラスベヲ持テ手ノ中指サキヨリ手ノクヒノ横ナルキ^二ヲ

ムニテ寸法ヲ取テ四ニキリテ一ヲ手ノクヒヲキタメヨリク^二ラヘテウ

ヲ中ノスナニ當テ此ニルシノ及処ニ効ヲサシテ三壯灸セヨ左右

共ニ同クスヘシ

○又方^{千金} 齒ノ痛クハヒラメクヲ治ス 生地黃 桂心 右ホ分^三ロ^二

クニテヨク^一カミトキテハ吞入^一スヘシイタニ必イユ

○椒豆膏^{夏證方} 牙出クイ齒ヒラキ痛夏難忍ヲ治ス

昔人有テ蚰牙痛テ不可忍叫ヒヨハウ夏里ニ聽工諸藥ヲ用

ニ無効道人有テ此藥ヲサツケ是ヲ以テ則イユ右椒細末^二

ナ一錢色豆一粉ヲ加テ研合テ飯ノソクヒニテ○此程ニ丸メ綿^二

最テ脚牙孔ニクイハサニ置立処ニ平愈ス極テ可秘若巴豆ニ
斷爛夏アヲハ石菖蒲ノ根ヲカメハ直ル也

○如神散胡氏方 牙ヒラキ痛ヲ治ス 此藥極テ効有リ

露蜂房細末 椒 日上塩各ホ分 右ヨク研合テ一度ニ三錢ヲ

水一盞半入テ八分ニ剪メ温メロニク、ニテヌルウナラハ吐捨ヨ不可吞

露蜂房散 夏證方 鼻ノ痛クハレタルヲ治ス 露蜂房 右ヨキ

醋以テ剪テ温テク、ニテサメハ吐捨ヨ不可吞入

○乳香膏 事證方 脚牙ノイタミヒイラクヲ治ス 立処ニ有効

礬石ヤキカマセ 乳香 各ホ分 右細末メ蠟ヲ火ニトラカシテ大小齒

ノ虫クヒタル穴ニアテカイテ丸メ痛齒ノ穴ニ深クヒハサニテ可置立
処ニ痛止也

○乳香膏 事證方 風脚牙ノ痛不可忍ヲ治ス 巴豆三粒油ヲ取テ捨ヨ

乳香一錢 右乳香ヲ火ニアフリトカシテ巴豆ヲ入テトラカシ合

テサメタル時齒ノ虫クヒタル穴ノホトラハカラヒテ丸メ其穴ニサシハ

サムヘシ痛止也

○聚宝散 事證方 風脚牙ノ痛ヒイラクヲ治ス 露蜂房 五文

荊芥 三文 右細末メ一度ニ五錢ヲ烏梅三水ニ盃入テ一盃半ニ

剪シテ温テロニク、ニテヌルウナラハ吐捨汁ヲ不可吞

○一方千金 牙齒ヒラキイタムヲ治ス 蒼耳子九升ヲ春碎水

一斗ヲ入テ五升ニ煎メ温テロニクニミテヌルウナラハ吐捨ク久ウカ

イテ必愈葉莖トモヨシ

○一方梅師方 齒ノ痛ニ不可忍ヲ治ス 乳香ヲカミテ汁ヲ

シハフレ

○一方千金 枸杞ヲ剪メ温テウカウヘシ

○一方王氏 牙齒ノヒラキ痛ヲ治 牛膝根ヲ灰ニ焼テ齒ノ

痛處ニ無隙スリヌレ

○一方王氏 虫クイ齒ノ痛ヲトム啄木鳥ヲ黒灰ニ焼齒ノ出

タル穴ニサシ入ヘシ二三度ニ必愈是ハ自然ニ死タルアラハ復セヨサト
コロス事ハ努カ不可有

○一方王氏 虫クヒ齒ノ痛ヒラク夏難忍經年テヲリ痛甚シ

キラ治ス 杏仁ヲ火ニヤキテ烟末罷時取出メ研テ子ツト

スル時綿ニ裹テ虫クイ齒ノ穴ニ挿テ加ヨ

○一方類要 虫クヒ齒ノ出ヲ殺ス方 雄黄ヲ細末シテナツ

メラ割テ綿裹牙ノ間ニヒハサメ

○一方除師 虫牙ノヒラキ痛ヲ治ス 啄木鳥ノ舌ヲホシテモ

テ綿ニ裹虫ノ穴ニサセイタニ必トニル此方ニテサスモ好

○一方玉氏 齒ノユルキヌクルヲ治ス 皂莢二三挺塩三匁ニキリニセ
テ土器ニ入テ灰ニ焼テシホナカラ 細末夜毎ニハノ根ニヨククサス
ヘシ一月ヲ經テハノ子堅リ虫死セ

○一方千金 齒ノ根ユルキヌクルヲ治ス 生地黃ヲ綿ニ裹テ不退ニ
口ニ含テハニ可加汁ヲ可吞十日ノ中ニ必効有常食テヲコ
クサレハ七八十二至ル迄ヲキサル也

○又方ハクキヨリ 血ノ出ヲ治ス竹ノ葉ヲコク剪メ塩ヲ少入テ
温ニテウカウヘシ

○一方千金穢戒 齒ノ黒ヲ治 松木ヲ灰ニ焼テハニスリヌレ又

雄黄ヲ細末斷ニスリヌレ百日ノ中ニ有効

○升麻散 楊氏方 風腫ノ痛ニライテ齒ノ根ユルキヌクルヲ

治ス 升麻 細辛 葶藶 胡椒 川芎 苴松

香白芷 石等分ニ細末シテ少ツハニスリ斷ニスルヘシ毎

服ニ錢ヲ沸湯ニテ服ヨ又煎ウカウヘシ

口病

○夫口ハ即一身都門出入榮養ノ要道也 食復穢ニシテ
口中ケカスハシキ時ハ病必生ス故ニ整スル時ハ口若シ寒時ハ口醋シ
宿食ニ遭侵時ハ即口中酸煩燥スル時ハ即口溢也虚スル

時ハ即口中淡シ痘アル時ハ即口中其シ凡五味口ニ入テ脾胃ニ
 收リテ其汁ヲ五藏ニ分テソク一藏ノ本味ヲ好ム勞衰スレハ口ノ
 中シテ氣滯ル時ハ瘡ヲ生ス此趣ヲ知時ハ口ノ味ヲ以テ五藏ノ
 病ヲ可知必シモ脉ヲトラストモ一ヨウヘカラス千金方ニ云凡口
 瘡ヲ患シ者ハ油麴酒醬醋棗ヲ忌ヘシ愈テ後モ是ヲ暫
 ツシムヘシツシニサレハ再發必イユカタシト云ヘリ又在書云心脾ニ熱ア
 ル時ハ口舌ニ瘡生スト云ヘリ心藏熱スレハ舌ニ瘡ヲナシ
 爛痛脾藏熱スレハ口中ニ瘡ヲ生セ

○竜石散 三日方 胸塞リ苦クシテ口舌ニ瘡ヲ生シ咽嗑ハ痛

ヲ治ス 寒水石 火ニ赤ナル程燒テ取 辰砂 二錢半重 別ニ研 生竜腦 一匁半重

ヲ四分タルホトアリ 石細末 日夜ニ無隙スリヌルヘシ火ニアテヌルウナ

ヲハナリ

○赴蓮散 三日 口瘡ノヒラキ痛ヲ治ス 五倍子 一匁 黃蘗 劉テ蜜

紫色ニアフレ 滑石 各半匁 石細末 毎服半錢許口ノ爛瘡ノ上ニ

スリヌルヘシ汁ハ吞入モクルニカラス

○綠雲膏 三日方 口瘡ノ爛イキクサキ久愈ヲ治ス 黃蘗 半匁

青黛 二錢重是ハ藍ノ 石研細ニシテヨククカキ合テサツ、舌ノ

下ニ可置汁ヲ吞モ不苦

○一方 青黛ヲ除テ銅緑ヲ用銅緑トハ銅サビノ主目也銅ニ醋ヲ
スリテ置青サビタルヲフソケテアツメ取出也

○兼金散 三目方 心脾腎藏虚メ氣上リ胸塞テ口ノ中ホ、
メキ熱テ口瘡ヲ生ルヲ治ス 細辛 黃連 各半分 右細末テ一ツ沸
湯ヲツメタリサシテ口ヲヨクク洗ウカイテ此藥ヲ口古ニヨククス
リヌルヘシ良久テ涎多壅ハ是ヲ吐捨セヨ立処ニ効有リ

○杏粉膏 三目方 口瘡ノ久不愈諸ノ涼藥ニテ不直ヲ治ス
杏仁十粒皮莢ヲ 輕粉一字草 右先杏仁ヲ研碎テ輕粉ニヨクク
研合テ口ノ爛瘡ノ上ニスリツケヨ涎ヲハ吐捨ヨ不可吞

○生香膏 三目方 口ノ氣熱シクサキヲ治ス 甜瓜子皮ヲムキステ
右乳鉢ニテ子ツトト研碎テ蜜ヲ少クテ煉テ子ツトニテ少ク口瘡
ニモ付ヨロニ食テモツ汁ヲ吞モ不苦

○一方 三目方 口瘡口氣ヲ治ス 香附子ノ毛ヲ燒捨細末テトコシ
ナヘニ口ニ含テ古スリヌリ齒根スリヌルヘシ

○一方 千金方 口ノ中瘡久不愈ム子ノ熱テ花ニ瘡ヲ生三年以上
不愈ヲ治ス 薔薇ノ根ヲコソ剪テ是ヲウカヒニ口ニ含時ニ可吞
汁冬ハ根葉ハ葉モ好也

○一方 千金 口瘡ノ久不愈爛痛ヲ治ス 牛膝 生薑 荷根各三

黃蘗五分 右細二 剉合テ 綿ニ 裹テ 酒三升 侵テ 一宿テ 杵
莫細二 口三 可含

○一方千金 口熱ノ 瘡ヲ 生スル 治 升麻五分 黃連三分

右細末綿 裹テ 口ニ 漬ニ 茶ウ 汁ヲ シハ フリ ノム へシ 吐捨 又ヨ シ

○一方千金 口中爛テ 疼痛シテ 飲食スル 莫能 治ス

甘草一寸 黃連一分 杏仁廿 右細末綿 裹テ 口ニ 可含

不吞汁

○一方千金 口吻ニ 瘡生 不愈ヲ 治ス 椒皮五分 阿膠二分

取テ 又シ 新時口 吻ノ 瘡ニ 三ニ ナリ 押シ ツク 入シ 五七度ス 必愈也

○又方千金 口吻ノ 瘡ヲ 治ス 梔子 甘草三分 細辛五分

桂心三分 川芎一分 右細末蜜 以テ ○此程丸 每服七 丸

ツ、可服

○一方千金 口傍ノ 方ノ 瘡惡 瘡ホ 治ス 乱髮灰 故絮灰

黃連粉 乳着粉 右等分ヨク 合テ 瘡ニ 無隙付

ヨ三五度ス 必愈也

○一方千金 第五椎心 輸ヲ 十五壯ツ 每日ニ 灸ヘ シ三 日灸 セヨ

一切口熱ニ 好又 足蹠上 三寸ヲ 塞ハ クホ ル処 可灸

○五香圓千金 口氣シ サシ 及身アリ カシ サキ 治ス 身ヲ 香シ 諸

氣ヲト、立勢ヲ除方也 白豆蔻 丁香 藿香 零陵香

木香 香白芷 桂心 各五分 香附子 二分 其松 當飯 各半分

檳榔子 二分 右細末テ蜜ニテ ○此程九テ常一丸食テ漸汁

ニフリスウヘシ服メ五日ニ至テ口中香ニ十日ニ至テ遍身香ニ二七日

衣裳香三七日下風香ニ四七日ニ午ヲ洗タル汁土ニ落テ香ニ

五七日ニ人ノ午ヲトラウレハ手則香此藥ヲ服セシニハニラノキル

諸ノクサキ物ヲ不可食

○含香田 十分 口氣ノクサキヲ治ス 丁香 半分 甘草 三分

川芎 一分 細辛 桂心 各五分 右細末蜜ヲ以テ ○是程二丸テ夜臨

卧ニ丸ヲ含テニハフリ吞ヘシ只ノ時モ常ニ二丸口ニ含ニスウヘシ

○又方 十分 口氣ヲ除キ身ヲ香ス 細辛 桂心 甘草 橘皮

右ホ分細末每服二錢古酒ニテ服ヨ

○又方 口氣ヲ除 桂心 甘草 各分 右細末每服一錢酒

ヲ以服ヨ食后ニ七日ニ至口氣即香

○又方 十分 細辛 白豆蔻ヲ常ニ可食

○又方 十分 蜀椒 桂心 各分 右二種ヲ細末メ每服二錢ヲ

以服ヨ

○一方 百一 口氣ヲ治ス 香白芷 七錢重 甘草 五分 右細末メ

食后ニ井花水ニテ一錢ヲ服セヨ

○黄蘗散 夏證方 口瘡ヲ治ス 黄蘗 去重皮蜜シテ 白礬

右黄蘗ヲ抹テ一錢白礬ノ抹半錢ヲヨクカキ合テ口瘡ニスリ

フシムヘシ藥ノ汁ヲ可捨常ニ付ハ即癒

○一方 口瘡ヲ治 黄蘗 アラ皮ヲコニカニソグステキサミテ 細辛 右

ホ分ニ細末メ合テ口瘡ニスリ可付涎出ハ吐捨クスヘシ

○赴蓮散 選奇方 口瘡ヲ治ス 五味子 一匁 滑石 半匁 黄蘗

半匁蜜ヲスリ紫色ニ 右細末 每服半錢ハカリヲ瘡上ニスリ

アリホセ スヘシ吞入モ好

○一方 肘后方 蕃薇根 シヤクヒ ヲコク剪メアツウテウカイトスルウ

ナラハ吐捨クスヘシ

○一方 王氏方 楊ノ枝ヲ漿水ニテコク剪テ塩少入テ常ニ

アツウテウカヒテ又ルウナラハ吐捨クスヘシ

○一方 王氏方 黄蘗皮ヲ酢ニ切ヒタシテ瘡生シ及古ノ上瘡

生シ爛タルヲ治ス 牛膝ヲ酒ニ侵テ常ニ食ミウカヒ又

モキサニ常ニ口ニ食

○一方 外臺 口中及古ノ上ニ瘡ヲナシ爛ヲ治ス 黄蘗ヲ剉

テ常食ス

○一方 王氏方 口瘡ヲ生タルヲ治ス 桑木ヲ剉テ汁ヲ取テ
先口瘡ヲ拭テ是可付也

○一方 王氏方 口中熱テ口舌咽ニ瘡ヲ生テ爛痛ヲ治ス
栝棟一匁 甘草二匁 右細末 每服二錢ヲ水一盞入テ六分
ニ煎テ滓ヲ去テ温テ服セヨ

○一方 外臺 咽中口舌ニ瘡ヲ生シ爛痛ヲ治ス

藁荷ノ根ヲ剉テ酒ニ浸メ半日ハカリ置テ汁ヲコシ
シテ口ニ食テ常ニウカウヘシ

○一方 聖惠方 吻ニ白キ瘡生シ爛ヲ治ス 檳榔子ヲ

灰ニ燒テ椀テ無隙可付

○一方 口中タレ痛ヲ治ス 朴麻ヲコシ剪メウカウヘシ

舌ノ諸病

○夫舌ハ心ノ官ニシテ五味ヲナメテ脾胃ヲメスケ身軀ヲ
ヤシナウ津液ヲ分抱テ五藏六府ヲ湿ス故ニ心藏ノ經
脈ハ舌ノ根ニ通シ脾藏ノ經脈ハ舌ノ傍ニカリ肝藏ノ
枝脈ハ隱氣ヲメリテ舌本ニツフ 凡三經脈或ハ風或
寒或氣ニソコナルハ舌ツリニクレテ物云夏アス或此
三ノ經脈憂怒思恐ニソコナルハ舌腫滿テイキスル事

不能若心藏熱スレハ即古破裂衣テ瘡生シ若肝藏寒アル
ハ即古ヨリ血出ル夏溜水ノ如シ若時藏閉ハ即古白胎ニハレ
テ雪ノ色如此此セシナラ弁テ治方ヲホトコスヘシ

○金沸草散 三目方 風寒心脾ヲソコナユハ人ヲシテ增寒
發熱ノ齒根ウキ古腫ヲ治ス 荊芥四反 旋覆花

前胡 麻黃 甘草 芍藥 半夏 右剉散トノ毎
服四錢水一盃半生姜七片棗二入テ七分剪メ滓ヲ去テ

口ニ含テ吐捨シ可吞入今此藥ヲ以傷寒傷風ヲ治スルニ皆
効有リ 杏仁五味子ヲ加テ剪シシハ咳嗽ヲ治スルニ極テ

効有リ 爛舌ノハレヲ治夏人未知若咽舌共ハレフメカリタルニ
此藥ヲ剪テ温テ紙ニツミテ咽ニアテ、藥ヲイキヲモツテ咽中ヲ
フカスレハ咽即アク其時是ヲ服スレハ立処ニ平愈ス

○又一人ノ婦人アリテ齒痛ヒラク夏極ナシ諸藥ヲ用ニ効無シロ
頰皆ハレテ舌スクニ痛ムニ此藥ヲ以テ咽ヲフスヘウカウヘシ立
処ニイユ又

○二方 三目方 凡古腫テ舌ノ下蚕ヲフセタルカ如ク若ハ蝶^ケ蛇ヲ
置タルカ如クシテ頭尾有テイタハ頭ノ少ク白キ処ヲ火針ニテ
可燒立処ニキユ失テイユ

○黒散子三日方 古忽然トハレヤフルヲ治ス 釜底煤ナヘハツヒ

石細研碎テ好醋ニトキテ無隙古ノ上下ニヌリスヘシ極テ効アリ或人古ノ根ハレ痛ミテ死ナントシテ此方ヲ用ルニ立処ニ古ノ下ヨリ粟ノセイナル石出石ノ穴ノコトシソレヨリメ忽ニイユス其石堅メ碎ス堅シホ色ノ如シ

○一方ニ塩ヲ少具テ用又酒ニテトキテツケルモアリ

○薄荷蜜 三日方 古上ニ白胎ヲ生メ痛古コハルヲ治ス

薄荷ノ自然汁水ヲクシセスシテ莖葉ツキシホリタルナリ蜜ホ分石先生姜ヲスイテ古ノ上ノ瘡ヲスリコイテ後ニ此薬ヲ

古ニスリヌルヘシ

○蒲黄散 事證方 古ノ痛ヲ治 蒲黄石細末ニテヨク

ヌリスヘシ 木古トテ古ノ大ニハレフトリテ一口ニ満量古トテ小古ノ古ノ上下ヲイリ重ル夏アリ此薬イツレニモヨシ小古ニハ足ノ両方ノ蹠上ノトカリヲ三壯ツ、灸テ此薬ヲ無隙スリ付レハ立処ニイユス又小古上ヲ針テ少サシキリテ此薬ヲスリ付夏殊ニヨシ重古モ木古モ陸治スレハ咽ハレ古コハリテ涎壅テ死也

○鵬砂散 石薬也 石細ニ採テ生姜ヲウスムトキリテ此薬ヲ

粉ニ研テ舌ノ上ニヨクスリクスヘシ即効有リ

○又百草霜ヲ醋ニトキテヌルヘシ

○一方王氏方 口舌ニ瘡ヲ生シ胸痛ヲ治ス 石小豆ヲ

イリコカシテ細末メロニクムヘシ常カエヨ一二夜ニ平愈ス

○一方王氏方 舌ヨリ血流出ヲ治ス 石小豆一升ヲツキ

クタキテ水三升入テモミ出シコシテ汁ヲ常ニ可服又蒲黄ヲ

○又方 舌ヨリ血出ヲ治 黑豆ヲ三升水三升入テニカエテカ

シテ日ニ三度ツ、可服

○一方 重舌ハ是心藏ノ熱ニヨリテ生スル也 舌ノ上下ニウサ

キ舌ノヤウナル物ヲイ出也尋常ニ小舌ト云是ニハニシナウ夏有

リ極タル秘事也別ニ口傳アリ 丹家ノ嫡流ニ傳物也但シ

手ノ大指ノ中ノツレノニキタル上ヲ小針ヲ以テウサシテ血ヲニ露

出シヌレハ必平愈ス極テ効有リ

○古ノ爛痛ニ太一膏ヲ棗ノ勢程ニテ綿ニ裹テロニク、

ニテ持テ汁ヲシハフリ吞ヘシ極テ効有リ

咽喉諸病

○夫咽ト喉ト共ニノントナレ凡其門殊ナリ咽ハ食物ヲ吞処也

三皖ニ連テ胃府ニ通ス喉ハ氣息ヲ令出入処也五藏ニ通

メ六符ヲヌクル故ニ五藏熱スルハ即喉門ハレ五藏寒スルハ即
 喉門シニリツカサル久咳スルハ音カル也 是ハ喉ノ破故ニ音
 カルナリ咽門腫塞テ物ヲ吞事不能カハク時ハ則津モヨカ
 ラス或ハ辛物ヲ好ミ熱物ヲ食シフクシ或物ヲ食シフシ或
 物ヲエツク夏シケルハ必咽門カレハキ煩ヲ成ス或云咽門ハ
 前ニアリ喉門ハ后ニヨレリ此外種々ノ説アレハ是ハ不過也
 ○小續命湯 三日方 喉痺シテ物云夏不能ヲ治ス
 中風ノ卷ニ此藥アリ即一服コトニ杏仁ヲ皮英ヲ除テ七
 粒ヲ加テ煎テ服セヨ

○神効散 三日方 喉閉テ熱メハレテ音物云夏アメハサル
 ヲ治ス 荊芥穗 別細株 カラエノミ 草麻子 生テ皮ヲムキ捨テスレ
 右等分ニ研合テ蜜ヲ十分ニ子ツト ○此程ニ丸テ綿ニ裹
 テ口ニ含テ汁ヲイソキニハフリ吞メ立処ニ効有リ
 ○荊芥湯 三日方 風熱ニ喉ヲサカリ喉咽共ニ腫痛ニ声不
 出ヲ治ス極テ効アリ 荊芥穗 一匁二分 桔梗根 五匁
 甘草 三匁二分 右剉散メ毎服四錢ヲ水ニ盪生薑三片
 入テ六分煎テ滓ヲ漉テ温テ服セヨ
 ○解毒雄黃圓 三日方 纏喉風トテノムトヲナハニテク

ヒルヤウニ覺テツリ痛及俄咽トハレテタフレ卧テ声失物
云夏不能シテ牙ヲクヒツメテ人ヲ見不知偏中風ノ如ク
或胸寒熱シ咽ニ疾フサカリハレ痛ヲ治ス 此藥縱ヒ
死ニイタレトモ胸アタ、カナラハロニヲシ入テアタフヘシスリ入
テ水ニテモ与ヨ藥咽ニ下ヌレハ必生飯也

雄黃 三分三朱 鬱金 二分三朱 巴豆 大ナルヲ十五粒皮油ヲ除ケ

右細末米ノ糊ヲ以テ煉テツキ合テ○是程ニ丸テ沸湯ニ茶ヲタ
テ、温テ七丸ヲ与ヘヨ涎出立處ニ平愈スアニ疾ヲハカヌハカサ
子テ与ヨ

○一方千金 雞ノ白屎ヲ含テ暫服セヨ

○又方千金 喉痺及諸ノ毒氣ヲ治ス 桔梗根 三々ヲ

水三盃入テ一盃ニ煎一服セヨ

○又方千金 喉痺ヲ治ス 大蒜ヲムキ兩方ノ年ニサスヘシ

鼻穴ニモサスヘシ日々二度新蒜ヲサシカユヨ

○張常飲 事證 喉ハレフサカルヲ治ス 白礬ヲ細末テ冷

水ニテ二錢ヲ服セヨ此藥極テ効アリ急ニタツ子カクキ故ニ兼
テ貯テ張ニイ附テ置ヘシ故ニ張常飲ト名也

○牛蒡湯 事證 咽喉ニ瘡ヲ生シ熱氣上テ喉痛ヲ治

ス 桔梗一匁 甘草五分 牛蒡子一匁

石菖末每服三錢ヲ水一盃入テ竹茹一分加テ六分煎メ
滓ヲ漉テ時ヲ不定温ニテスリ服ヨ

○南星防風散 事證 纏喉風及風氣ニヨリニヲトカヒ

ハレ子一リタルヲ治ス 天南星五分 湯ヲ以ヨクク洗テノキキリ
チヒサキテ生姜ノ汁ニシメテア

防風五分 白殭蚕五分 當皈二錢

天麻三錢 楮牙 皂角上ノ黒皮ヲコソケ捨テ棕ヲ以テソヒテ
アフリテ三

右細末每服二錢水一盃生姜三片荊芥穗少入テ七分
煎テ温テ服ヨ日ニ三服

○一方 經驗方 風勢トテ塞テ咽喉ハレ痛遍身ヲモハレタルヲ

治ス 牛蒡子一合ヲ半分ハ生半分ハ炊テ共ニ細末每服

一錢スツヒヲ温酒ヲ以服ヨ立処ニ効有リ

○一方 喉ハレフサカリタルヲ治ス 射干ヲキリヘキテロニ

合テシハフ

○一方 海上方 喉痺ノ喉閉塞テ津モカヨハサルヲ治ス

紅藍花ヲ春シホリ可服若冬新ナクハ干タラ水ニコク出
シテ可服極テ効有

○一方 王氏 纏喉風ノ喉ヲエイシルヤウニ皆氣不通ヲ

治ス

クニハノヒエヌケ
蛇蛻

黃色ニアフリテ當飯ト同ホ分ニ細末毎眼一

錢ヲ温酒ニテ眼ヨ少キ毒氣ヲ吐テイユ極テ効有リ

〇一方王氏 咽喉ハレテイタミ口舌ニ瘡ヲ生及傷寒ノ頭痛

ノ喉痛ハルヲ治 升麻ヲ細剉テコソ剪シ眼ヨ即氣ヲ

ハキツイテイユ

〇一方王氏 咽喉ノ做ニハレフサカリタルヲ治ス 薏苡ヲ一ロナカ

ヲ二可吞

〇一方王氏 咽喉做ハレ痛ヲ治ス 黃蘗ヲ細末テ好醋ニ

トキテアラハシヌレ常ヌリカエクスヘシ

〇如聖湯 為方 一切ノ病ノ中咽喉ハレ痛ノントフサカリテ飲

食ヲ吞莫不能喉ヨリ膿ヲハキツクヲ治ス 桔梗 一匁 アフレ

甘草 ニ匁 サアフレ 右細剉合テ毎服ニ錢水一盃入テ七分煎

テ滓ヲ瀟温テ服ヨ男女老幼通テヨシ此藥極テ効アリ

尋常遍ク是ヲ用也

〇五香煎 為方 咽喉ハレ痛ヲ治スル極テ効有リ

〇一方王氏 咽喉ハレフサカリテ藥ヲモ吞入莫不能ヲ治ス

葱ノ鬚ヲ陰乾ニシテ細末ニ錢礬石ヲ抹テ一錢ヲヨクヘカ

キ合テ筆ノ管ニサスクヒテ喉ニタラツクツキ入ヘシ

唇之諸病

夫唇ハ脾藏ノナス所ニ意舎ノ養処也 脾藏カハク時ハ唇

カハク脾藏熱時ハ唇裂脾ニ風アタル時ハ唇ヒキウコク

脾寒ニ侵ル時ハ唇シニリツニル脾ノ氣ムスホラル時ハ唇ニ

瘡ヲ生ス脾ニ血カレル時ハ唇シヤレテ色ナシ是治方内ハ即

脾ヲトノエ外ハ則唇ニ藥可付

○清脾湯 三日方 意思度ニスキヌル時ハ熱脾藏ニツモリテ

ロカハキ唇乾ヒハレテ無色ヲ治ス 黃耆 香白芷

升麻 人參 甘草 アフル 半夏 湯ニテ七反洗ヘ 石各亦分煎

末テ每服四錢水一盃半生姜五片棗ニケ小麦三粒入
テ七分煎メ滓ヲコシテ時ヲ不定服セヨ

○姜活湯 三日方 風濕脾藏ニ入テ口唇ヒキハメラキシニリ

及頭痛眩キテ手足少風水病ノカタキノ如ヲ治 羌活 三反

茯苓 薏苡仁 各一反 石細末每服水一盃入テ七分煎

瀝テ服セヨ

○青皮散 三日方 唇シニリヒレ瘡ヲ生シ面無色ヲ治ス 青布黒

灰ニヤケ 右研振テ猪脂ニトキテ無隙唇ニヌルヘシ

○一方 髮垢ヲ猪脂ニヨクク子ツトトキテ唇ニヌルヘシ

○一方 聖惠 唇ノ上ニ瘡ヲ生ス經年テ不愈ヲ治ス

八月藍ノ葉ヲ取テツキシホリテ頻唇ヲ洗ヘ三日ニスキスシ

テイエ

○犬食目ニ付藥夏 温灰ヲ振テ温湯解ル上付ヨ

又牛糞ノアツキヲ又ルヘシ

○齒ノハシルニハ上ハ上ノツハノ下ヲ可灸下ハレヲ下三火

○爛目ノ灸三火

○女性胸責上灸三火

頌醫鈔卷第二十終

